

36歳の夫が昨年、期外収縮と診断されました。今年に入ってから、脈が1回飛ば感じや不規則な脈と動悸が続いていたのですが、病院で検査をするときには異常がなくなっていました。期外収縮とはどのような病気でしょうか。心臓なので、突然死しないか心配です。

(東京都 女性 34歳)

期外収縮

期外収縮とは不整脈の一種で、正常の脈と次の正常の脈の間の早いタイムングで電氣的刺激が現れることをいいます。電氣的刺激が起る場所によって、心房性、心室性と区別します。期外収縮は早いタイムングで心臓を収縮させるため、ほとんど感じられず、症状としては脈が飛ば感じや、次の心収縮が強くなるため、ドキンとした感じがします。期外収縮が3連続以上続くと頻拍と呼びます。目の前が暗くなる、座っていても立ちくらみのような症状があれば、頻拍の可能性があり、治療が必要です。

期外収縮は多くの人に認められますが、その一部は重い心臓病の初期症状であることがあり、心エコーなどで心臓病が隠れていないか(基礎心疾患といえます)チェックすることが重要です。Holter心電図や負荷心電図で、より重症の頻拍が存在しないか確認

聞いて効く

体の悩み

ストレスが関係、頻拍なら治療必要

豊橋ハートセンター循環器科
不整脈治療主任 山城荒平

回答



することも重要です。突然死につながるものはごく一部で、基礎心疾患がなく、突然死の家族歴がなければ、その可能性は低いと考えられます。

治療は基礎心疾患があれば、それに対する治療。症状があれば、薬の内服や、1泊2日程度入院で電気刺激を出している病的部位を熱凝固させるカテーテルアブレーションというカテーテル手術で根治することもできます。いずれにしても期外収縮は精神的、身体的ストレスで起こることが多く、睡眠不足の解消、規則正しい生活、過度の飲酒や喫煙を控えることが大切です。心臓なので不安に駆られる方も多いので、気軽に不整脈専門医に相談しましょう。

相談は〒556-8661 産

経新聞社文化部「聞いて効く」係

(FAX) 06・6633・194

0)へ。